ファイル分割

情報研究会CACTUS

ファイル分割とは

◆複数のファイルに分割してプログラミングをすること

利点は...

- 大規模なプログラムのデバッグがしやすくなる
- ●複数人で作業を分担しやすくなる
- プログラムの流用ができる
- ●部分的にコンパイルすることができる

ファイルの種類

●C言語では主にヘッダファイル(.h)とソースファイル(.c)でファイル 分割を行う

イメージとしてはヘッダファイルがプログラムの設計図で、ソースファイルがプログラムの中身

簡単なサンプルプログラム

```
#include <stdio.h>
 int CalcAdd(int, int);
 void Print(int);
pint main(void)
      int a = 1, b = 2, c;
     c = CalcAdd(a, b);
     Print(c);
     return 0;
⊡int CalcAdd(int a, int b)
⊡void Print(int a) {
     printf("%d\forall n", a);
```

```
calc.h
分割
              calc.c
              main.c
```

```
⊟#ifndef CALC H
 #define CALC_H
 #include <stdio.h>
 extern int c:
 int CalcAdd(int, int);
 void Print(int);
 _#endif // !CALC_H
 #include "calc.h"
     return a + b;
```

```
□int CalcAdd(int a, int b)
⊡void Print(int a) {
      printf("%d\fomage\fomage\fomage", a);
```

```
#include "calc.h"
□int main(void)
     int a = 1, b = 2;
     c = CalcAdd(a, b);
     Print(c);
     return 0;
```

ヘッダファイル

◆#define、関数のプロトタイプ宣言、構造体、externなどで構成されるファイル

```
#ifndef HOGE_H
#define HOGE_H
#include <...>
#define ...

構造体
extern 変数
プロトタイプ宣言
...
#endif
```

ソースファイル

◆主にヘッダファイルで宣言した関数を実装するファイル

ヘッダファイルはダブルクォーテーションで囲ってインクルードする

#include "hoge.h"

main.c

◆main関数のみを実装するソースファイル

- ヘッダファイルをインクルードするだけで、ヘッダファイルで宣言した関数などが使用できる
- ※ソースファイルはインクルードしない

extern装飾子

●変数宣言にexternを付けることでグローバル変数を宣言することができる

●ソースファイルでexternを付けずにグローバル変数を定義する

ヘッダファイル

ソースファイル

extern int a;

int a = 0;

多重インクルード防止

あるヘッダファイルを複数のソースファイルでインクルードすると、同じ関数が複数回宣言されることなどが原因でコンパイルエラーが起きる



#ifndef、#define、#endif を使用して多重インクルードを防止することでコンパイルエラーを解消する

多重インクルード防止

#ifndefで指定したキーワードが#defineで定数として定義されていなければ、#ifndefから#endifまでの範囲を読み出す

#ifndef HOGE_H #define HOGE_H ... #endif

● 読み込み1回目 #defineでHOGE_Hは定義されていないので #ifndefから#endifまで読み込む

> 2回目以降 #defineでHOGE_Hは定義されているので #ifndefから#endifまで読み込まない

練習問題

1. Googleドライブのファイル分割フォルダにあるcomplex.cをcomplex.h、complex.c、main.c の3つのファイルに分割してみよう

2. 過去に自分が作成したプログラムをファイル分割してみよう